



# Let's Recycle!

## むさしむらやま Vol. 13 平成20年12月発行

発行／武蔵村山市市民生活部環境課ごみ対策グループ TEL 042-565-1111(内293)  
 ホームページ／<http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/> FAX 042-563-0803

### 市民のみなさんのご協力により、 前年度よりもごみの総排出量が減りました。

ごみの総排出量を見ると前年度より1,187t減少しています。

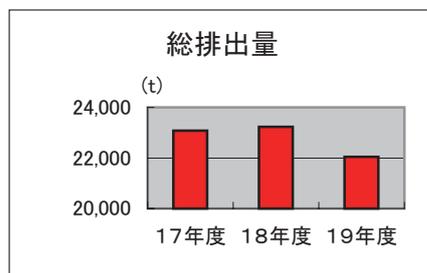
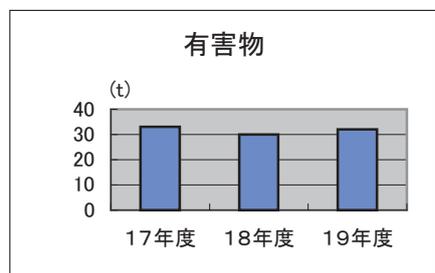
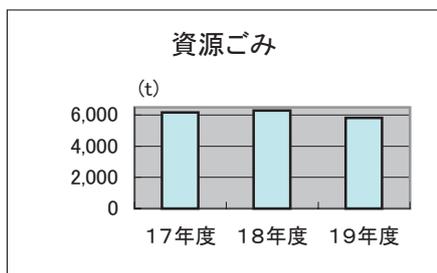
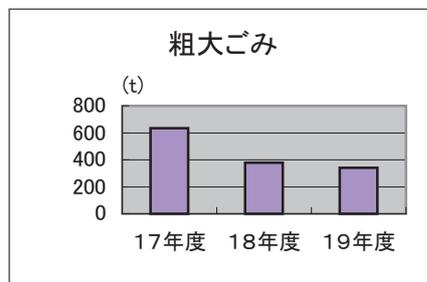
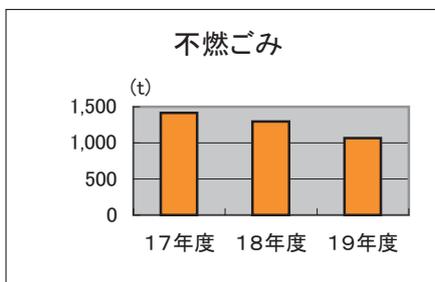
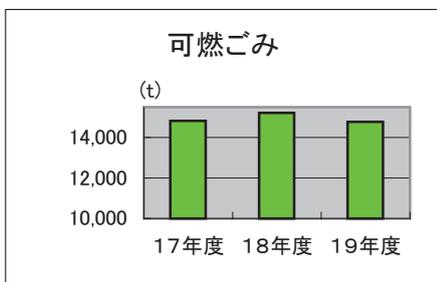
処理経費が1tあたり約46,000円かかりましたので、**約5,500万円**が削減されたこととなります。

これからも、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実践によりごみの減量に協力していただきますよう、よろしくお願いします。

過去3年間のごみの排出量

(単位:t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源ごみ	有害物	総排出量
17年度	14,822	1,415	634	6,169	33	23,073
18年度	15,220	1,297	379	6,301	30	23,227
19年度	14,769	1,068	342	5,829	32	22,040



# 「ご協力ください 『ごみ減量の3R』」

3Rは、循環型社会を形成するために必要な手段です。

そして、3Rは、順番が大切です。第1に「ごみの発生抑制=Reduce」、第2に「製品等の再使用=Reuse」、第3に「製品等の再生利用=Recycle」であり、頭文字の3つの「R」をとって「3R」といわれています。

循環型社会とは、この3Rに取り組むことにより天然資源の消費を抑制することで、環境への負荷ができる限り低減される社会をいいます。

この3Rに取り組むことで、ごみの減量及び、CO<sub>2</sub>の削減につながるとともに、ごみの焼却や埋立に係る環境への影響も少なくなることとなります。

これからは、市民のみなさんの3Rへの取組によって、武蔵村山市を環境負荷の少ないまちとしていきましょう。

## Reduce (リデュース) ……ごみの発生抑制

### ごみを減らす

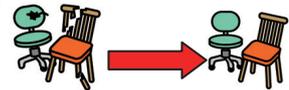
- 必要かどうか考えてから買う
- 過剰包装やレジ袋を断る(マイバッグを持ち歩く)
- 生ごみの水分をよく切ってごみを出す
- 食品は食べ切れる分だけ買う



## Reuse (リユース) ……再使用

### 繰り返し使う

- 詰め替えのできる商品を選ぶ
- 修理や修繕、リフォームして使いまわす
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用する
- リターナブルびん(洗って再使用できるびん)を利用する



修理して使う

## Recycle (リサイクル) ……再生利用

### 使えなくなった物を資源にする

- リサイクルされた原料でできた商品を使う
- 地域の資源回収を利用する
- リサイクルしやすい商品を選ぶ
- 拠点回収ボックスを利用する(ごみ収集カレンダーP16に設置場所が載っています)



現在使用している「ごみ収集カレンダー」は、平成21年3月まで使用できます。



新しい「ごみ収集カレンダー」は平成21年3月に各世帯に配布予定です。

# 断ろう！レジ袋

「レジ袋利用抑制推進キャンペーン」を実施します

期間：平成20年12月1日から12月31日まで

現在スーパーマーケットなどで買物のときに配布されているレジ袋は、全国で年間およそ300億枚あるといわれ、石油の量に換算すると45万トンになり、製造するときや、ごみとなって焼却処分をするときに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)も発生します。

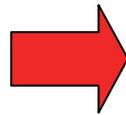
このようなレジ袋の利用を抑制することで、石油資源の節約、二酸化炭素の発生の抑制およびごみの減量を進めることができるため、このキャンペーンを実施することとしました。

期間中には、マイバック（写真）を市内に全戸配布し、市内の協力店舗で、「レジ袋の利用抑制」を呼びかけます。

キャンペーン期間中に下の写真のマイバックを市内全戸に配布します。



配布時の大きさは、約10cm×9cmです。



広げるとこのようなバッグになります。

## チーム・マイナス6%て、なに？



現在深刻な問題となっている地球温暖化... CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスが増え、地球の温度が上昇し異常気象が各地で起こっています。この解決のため、日本の温室効果ガスの排出量を1990年に比べて6%削減することを世界に約束しました。これを実現するための国民的プロジェクトが「チーム・マイナス6%」です。



マイバックを持って、レジ袋は、断ろう。



レジ袋を断ると、石油資源の節約、ごみの減量、二酸化炭素の発生の抑制になります。

# 生ごみの水切り用具を配布しています

～生ごみの水を切って、ごみ減量にご協力ください。～

家庭から出る生ごみは、燃やせるごみのうち約半分を占めており、80%程度の水分が含まれています。この水分もごみ量として計算されますので、生ごみの水を切ってごみ減量にご協力ください。

11月4日(火)から下記のとおり、写真の水切り用具を無料で配布しています。ぜひご利用ください。

※品物がなくなり次第終了します。

## 配布場所

市役所環境課  
市役所情報コーナー  
緑が丘出張所

## 配布対象者

市民及びごみ収集申し込み事業所

## 配布個数

1世帯、1事業所につき1セット

## 配布方法

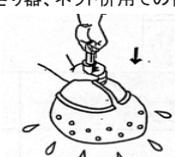
各窓口で、「水切り用具使用申込書」に必要事項を記入後、配布します。

### 水きり用具の使い方



この水切り用具を各配布場所で配布しています

1 水きり器、ネット併用での使用方法

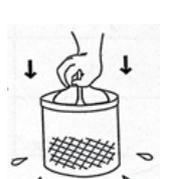


2 水きり器単体での使用方法

①三角コーナーで使う方法



②排水口で使う方法



3 水きりネット単体での使用方法



三角コーナーや排水口に設置した水きりネットを手などで押してください。

## 不用となった携帯電話・PHSは・・・

携帯電話・PHS端末は再利用可能なリサイクル製品です。これらの中には、金、銀、などの貴金属、リチウム、チタンなどの希少金属がふくまれており、貴重な資源として再利用することができます。不用となった携帯電話・PHS端末は **不燃ごみとして捨てずに**、下記のマークのある携帯電話・PHS会社のショップにお持ちください。ブランド、メーカーを問わず無料で回収しています。回収の際には、端末内に保存・蓄積された個人情報等を確実に消去しますので、個人情報漏洩の心配はありません。回収した端末は、本体、電池、充電器に分別し、再資源化事業者によって適正にリサイクル処理を行います。



不用となった携帯電話・PHS





不燃ごみ



モバイル・リサイクル・ネットワーク  
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

このマークのある販売店に持ち込んでください。適性に処理をして、リサイクルをします。

武蔵村山市では、下記のショップで取り扱っています

○auショップ武蔵村山

三ツ藤3-7-8

TEL 042-520-0065

○ソフトバンク武蔵村山

三ツ藤3-5-5

こぐまビル102

TEL 042-520-7922

本件に関する連絡先

社団法人電気通信事業者協会

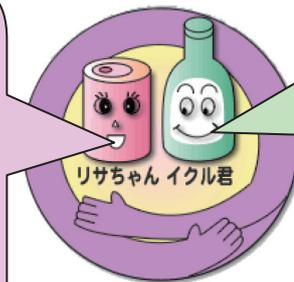
モバイルリサイクル担当

TEL 03-3502-0991

ホームページ <http://www.tca.or.jp>

現在、日本では鉱物資源の多くを海外からの輸入に頼っています。

特にレアメタルと呼ばれるニッケル、コバルト等は、電子工業の最先端技術に利用されたり、特殊鋼などの原材料として欠かせない資源です。しかし、レアメタルの生産国は極めて少数で、安定して供給を図るのは困難です。



携帯電話・PHSには、このレアメタルが含まれており、日本では、このレアメタルの備蓄を行っています。全量を回収し、リサイクルするには、程遠い数字となっています。

どんな資源にも限りがあります。ごみをきちんと分別し、リサイクルをすることによって、地球資源と自然環境が守られていきます。